

## 新名誉会員紹介

### 山崎 芳男君

昭和 18 年 4 月生



山崎芳男先生が、2008年5月13日の通常総会において名誉会員になりました。1967年に伊藤毅先生の研究室に入られ、音響信号を対象としたディジタル信号処理の研究を始められました。常にその分野の第一人者として音響学に新しい学問分野を切り開かれてきました。

広帯域音響信号のディジタル処理に関する研究においては、A/D 変換における大振幅ディザ、特に高域集中ディザの有効性を示され、それらの結果は現在のディジタル信号処理の基礎となる技術として高く評価され、更に高速 1 bit 処理の実用化につながりました。

また、1976年頃から開始した近接 4 点法による音場測定は、音場の空間情報の把握を可能とするものであり、世界的にも高く評価され世界各地のコンサートホール等の音響測定が行われてきました。これら成果をまとめた論文により日本音響学会第 24 回、第 30 回佐藤論文賞を受賞されました。また、電子情報通信学会からは「ディジタル信号処理を用いたオーディオシステムの研究及び実用化」に関する貢献に対し 2002 年に Fellow 称号が贈呈されております。

日本音響学会においては 2003 年から 2 年間の会長、電気音響研究委員会委員長をはじめ多くの役職を務め、学会の発展に大きな貢献をされました。1995 年の Active95 では実行委員として、2004 年 4 月に京都で開かれた第 18 回 ICA では日本音響学会会長として国際会議を大成功に導かれました。

ユネスコなどの国際機関との連携や航空事故調査など国内外で活躍される中、早稲田大学においては大学院国際情報通信研究科、基幹理工学部表現工学科の設立、テーマカレッジ「音響学」、更に全学の共通科目「平和学」などの開設にも尽力されました。

先生の研究姿勢は原点にかえったほんものの追求であり、研究成果を論文としてまとめるだけではなく実際に我々が使えるものにする重要性を常に説かれています。また、「全人格をもって学生に接する」という伊藤毅先生の教えを身をもって実践され、大変人間味あふれる先生でいらっしゃいます。

(及川靖広・早稲田大学)

#### 略歴

履歴	昭和 43 年 3 月	早稲田大学理工学部電気通信学科 卒業
	昭和 45 年 3 月	早稲田大学大学院理工学研究科修士課程 修了
	昭和 51 年 4 月	早稲田大学理工学研究所 特別研究員
	平成 4 年 9 月	千葉工業大学情報工学科 教授
	平成 5 年 4 月	早稲田大学理工学総合研究センター 教授
	平成 12 年 4 月	早稲田大学大学院国際情報通研究科 教授
	平成 19 年 4 月	早稲田大学理工学部基幹理工学部表現工学科 教授（併任）
		現在に至る
日本音響学会	会長	平成 15 年 5 月～17 年 5 月
	副会長	平成 11 年 5 月～13 年 5 月
	理事	昭和 62 年 5 月～平成元年 5 月、平成元年 5 月～3 年 5 月、 平成 5 年 5 月～7 年 5 月、平成 7 年 5 月～9 年 5 月、 平成 9 年 5 月～11 年 5 月、平成 13 年 5 月～15 年 5 月
	監事	平成 19 年 5 月～現在
	評議員	昭和 60 年 5 月～平成元年 5 月、 平成 3 年 5 月～5 年 5 月、平成 17 年 5 月～19 年 5 月